

TOPIC
4
2
2

白糠高校美術部
久遠塾の窓を彩る

久遠塾にウインドーサイン

白糠高等学校の美術部（石井寿鶴部長）が久遠塾のウインドーサイン（窓を装飾した看板）を製作しました。久遠塾から依頼を受けた美術部2年の石井部長と田中絢香さん、大澤結さん、1年の松田みづきさんと天童雛子さんの5人が約5カ月をかけて手掛けました。看板にはシシャモや町花のキンセンカ、太陽の手などがデザインされています。石井部長は「色合いも良く、夜間は教室の明かりに照らされてきれいなので、地域の方々にも見てほしいです」と話していました。



看板を背に右から石井部長、田中さん、大澤さん、松田さん、天童さん

TOPIC
5
2
15

佐々木真美さん切り絵展

切り絵アイヌ文様展示会



「いろいろなアイヌ文様の作品がたくさんありますよ」と磯部会長

公民館講座などで折り紙教室の講師を務めている佐々木真美さんの作品を紹介する「切り絵アイヌ文様展示会」が、2月15日から3月27日までウレシパチセで開かれています。会場には、折り紙を台紙にさまざまなアイヌ文様を切り絵にした作品や、佐々木さんが手掛けた折り紙作品が100点以上展示されています。アイヌ文化保存会の磯部恵津子会長は「すてきな作品がたくさんありますので、ぜひチセまで足を運んで、アイヌ文化にも触れてください」と話していました。

TOPIC
2
1
23

アイヌ文様やサケの絵を彫刻

アイヌ文様「木彫教室」

アイヌ文様の「木彫教室」がウレシパチセで開催され、参加した7人が思い思いに木彫りを楽しみました。講師は、北海道アイヌ伝統工芸展で最優秀賞を受賞した能登康昭さん。能登さんの指導により、参加者は彫刻刀でコースターにアイヌ文様やサケの絵、家族の名前などを掘りました。教室に参加した新藤聡さんは「曲線や細かい部分が難しかったです。長い期間をかけて上手になりたい」と話していました。



「木彫を好きになることで上達する」と話す能登さん（中央）

TOPIC
6
2
20

ワクチン接種で
安心して過ごす

3回目集団ワクチン接種開始

65歳以上の高齢者を対象とした新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が2月20日から始まりました。この日は、西庶路コミュニティセンターと庶路町民センターを会場に、2回のワクチン接種を済ませた78歳以上の方がワクチンを接種しました。西庶路コミュニティセンターでワクチンを接種した吉田良夫さん（93歳）は「デイサービスなどを利用していますので、ワクチンを打っておけば安心できるかなと思いました」と話していました。



3回目のワクチン接種を受ける吉田さん

TOPIC
3
1
26

3年連続
ふるさと納税賞受賞

ショップ・オブ・ザ・イヤー2021授賞式



クラッカーを鳴らして祝う職員

国内最大級の通販サイト「楽天市場」に出店する約5万5千店の中から、その年の優れた店舗を決める「ショップ・オブ・ザ・イヤー2021」で、白糠町が3年連続となる「ふるさと納税賞」を受賞しました。授賞式は、東京都のランドプリンス新高輪で行われ、棚野孝夫町長と企画財政課の佐々木康行参事が出席。役場では同課職員がユーチューブによる生配信で表彰式を観賞し、棚野町長が盾を受け取ると、くす玉を割り、クラッカーを鳴らして入賞を祝いました。

商工会優良従業員表彰【勤続20年表彰（北海道商工会連合会長表彰）】 札鶴ベニヤ白糠工場の馬淵俊光さん、同社恋問工場の紅林隆行さん、佐藤有之介さん、五十里義弘さん、福田全泰さん、国井美智江さん、山根土建の小椋恵里子さん【勤続10年表彰（白糠町商工会長表彰）】 山根土建の田村亮輝さん、白糠酪恵舎の佐々木衆太郎さん